

## 第5回 助産実践能力向上研修

令和2年2月8日（土）、第5回助産実践能力向上研修が開催されました。今回は、山口県立総合医療センター産科診療部長 総合周産期母子医療センター長の佐世正勝先生に、「超音波画像診断装置の基本操作と手順」について、講義をして頂きました。助産師20名の参加がありました。



超音波の構造や、装置の原理をはじめ、プローベの持ち方や検者の位置関係など、超音波を扱う上での基本的な手技について、講義だけでなく実技を通して教えて頂きました。先生の解説をふまえながら、実際に妊婦さんのエコーを行ったり、参加者同士で膀胱や子宮の計測を実施したりしました。

また、シミュレータを使用し推定体重の算出など実際にエコーに触れ学びを深めていきました。



アンケートより、「超音波を実際に触ることができ、助産師外来や分娩時の胎児の向きを判定するのに役立つそう」や、「推定体重の測り方を知り、妊婦とのコミュニケーションが深まりそう」など、臨床ですぐに活かしていきたいという意見が多く得られ、参加者にとって実りある研修になったようです。

本年度の助産実践能力向上研修は今回が最後になります。  
来年度も皆さまのご参加をお待ちしております。



山口県看護協会  
助産師職能委員会